

## 3病院統合1周年を記念して

牧野, 直樹  
別府先進医療センター長 | 九州大学病院副病院長

<https://doi.org/10.15017/19235>

---

出版情報：福岡醫學雑誌. 95 (10), pp.235-236, 2004-10-25. 福岡医学会  
バージョン：  
権利関係：

特集：九州大学病院統合1周年記念企画

### 3 病院統合1周年を記念して

九州大学病院 副病院長  
別府先進医療センター長  
牧 野 直 樹

九州大学病院別府先進医療センターは九州大学の三病院の統合に伴い、昨年10月に九州大学病院の別府地区の医療センターとして再出発し一年が経ちました。現在、難治性疾患であるリウマチ膠原病、がん、生活習慣病を中心として、質の高い医療を提供できるように努力をしています。また、多様化する医療の中で医学研究の成果を臨床医学に応用する先進医療の開発に取り組んでいます。一方では生命・生活の向上を目指した全人的な医療を展開し、社会の新しいニーズに答えたいと考えております。

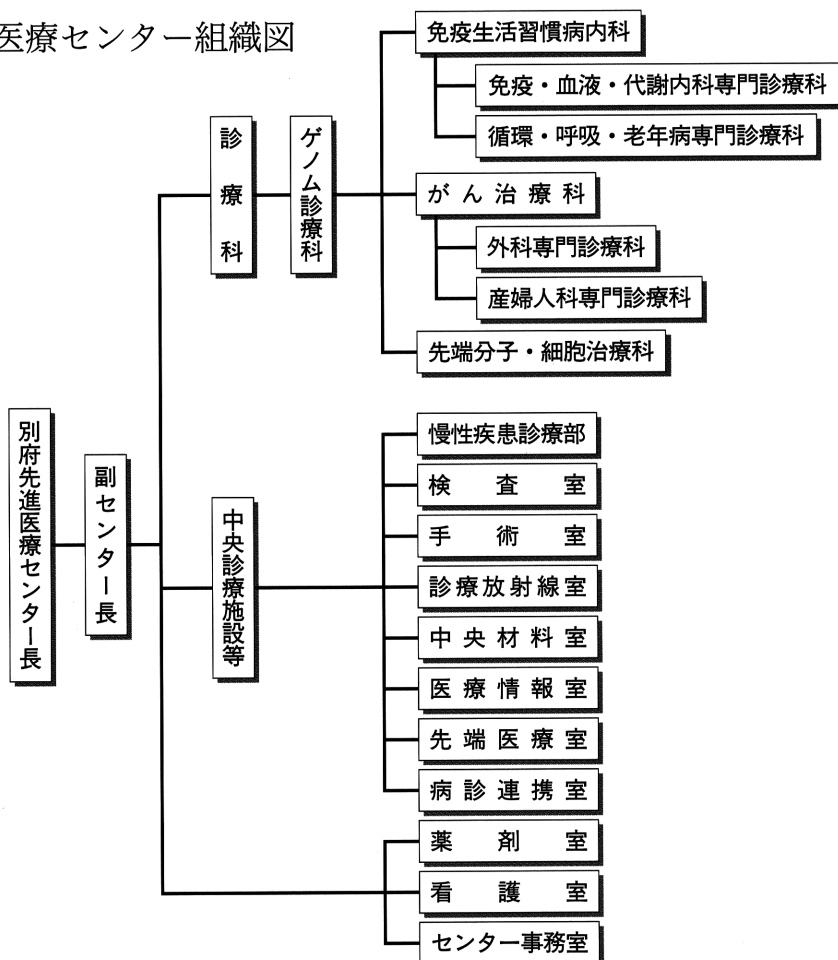
当院は、昭和6年湯の町別府に心臓の田原結節を発見した田原淳先生を初代所長として九州大学温泉治療学研究所の診療部門として発足し、以来70余年の歴史を持ちます。昭和39年研究所の附属施設として内科、外科、産婦人科及び皮膚泌尿器科を擁した温泉治療学研究所附属病院が設置されました。昭和57年生体防御医学研究所附属病院に改組され、研究所が掲げる生体防御に関する学理およびその応用研究という目的に沿って、リウマチ膠原病内科、体質代謝内科、気候内科、腫瘍外科、生殖内分泌婦人科を設け、基礎から臨床への一貫した研究診療体制を整備しました。平成7年から9年にかけて、病棟・中央診療棟、理学療法棟の施設を改修し、先端医療センターの設置、放射線診断、治療などのための医療機器の整備などに力を注ぎ、病院の整備と医療技術の向上に努めてきました。



別府先進医療センター正面玄関の景観

Naoki MAKINO  
Vice-director, Kyushu University Hospital  
Director of Kyushu University Hospital at Beppu  
First Year Anniversary of Kyushu University Hospital

## 別府先進医療センター組織図



平成15年10月より、九州大学医学部附属病院、歯学部附属病院、生体防御医学研究所附属病院が統合され九州大学病院として発足し1周年を迎えました。別府地区では九州大学病院別府先進医療センターと新たに衣替えし、地域や時代のニーズに対応できる新しい型の病院を目指して再出発しました。診療科を統合再編し、遺伝子治療などの最先端医療は、先端分子・細胞治療として福岡地区で診療を開始し、別府先進医療センターには、先端的研究と、優れた環境と蓄えられた伝統と実績を踏まえ、免疫・生活習慣病内科、がん治療科（外科、婦人科）を設置し、患者さんに優しく、侵襲副作用の少ない先進的医療の開発を目指しています。内科診療では、リウマチ膠原病、血液、代謝性疾患、循環器、呼吸器、老人性疾患を中心として、外科診療では、消化器がん、乳がん、一般外科を、産婦人科診療では、生殖器がん、不妊、中高年外来、産科外来を行い、従来にもまして質の高い医療を提供しています。すなわち本センターは高度先端医療からケア型医療への調和のある医療を展開し、社会のニーズに応えたいと考えています。また、本年4月よりは九州大学病院は国立大学法人となりました。予算の一部は国からの運営交付金でまかなわれますが、外部からの第三者の入った理事会によって、病院は運営されるようになりました。医療の質の向上、経営の合理化がより一層求められます。これまで以上に患者さまのための医療を考え、質を向上させるとともに、安全性も高めなければならないと考えています。また、当センターでは細胞・免疫療法や造血幹細胞移植などの新しい治療法も導入いたしております。多様化する医療の中で、医学の研究成果を臨床医学に応用する先進医療の開発は当センターの重要な使命の一つです。また、地域医療機関との連携を強固にするとともに、専門性もうまくすみ分けを出きるようにしたいと考えています。

九州大学病院別府先進医療センターは新しい医療体制のもとで、大きく再生しようとしています。新しい医療の先駆者として本センターが発展し、国民のご期待の添えるよう努力する所存でございます。皆様方の一層のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。